令和６年度　室戸市立室戸中学校　学校評価書（最終評価）

学校教育目標　「　学びあい　支えあい　高まりあう　室戸中学校　」

項目	中・長期経営目標	短期経営目標	主　な　取　組　内　容		取組内容の評価指標	自己評価（ABCD）				学校関係者評価（A:とてもできている、Bだいたいできている、Cあまりできていない、Dできていない）	評価
						達成状況	評価	総合評価	改善方策	評価書	
確かな学力	１．学力向上 ◇「分かる・活用できる」授業づくり ・年間を通じた校内研修の充実 ・年間を通した講師の招請 （ペア・グループ学習の充実） 指標 ◎知識・技能の確実な定着と活用力，課題解決力の育成 ○全国学力・学習状況調査 国語、数学で全国平均以上 ○高知県学力定着状況調査 県平均以上 ２．授業づくり ◇関り合いによる学習活動の充実 ・授業評価アンケートを通して、取組の充実 ・家庭学習の充実 家庭学習の効率化などの整備指標 ○授業評価アンケート肯定群90%以上	１．学力向上 ○校内研修の実施 （10回以上） ○全国学力・学習状況調査 全国平均以上 県学力定着状況調査 県平均以上 ２．授業づくり ○授業評価アンケート 肯定群回答90%以上	校内研修の充実 【研究推進委員会・研究主任】	校内研修の内容や共有の方法を改善、工夫し、全教員が有意義だと感じることができる校内研修の実施。 学力調査結果の分析と課題、改善の手立ての共有	・室戸中学校授業スタンダードに基づく研究授業 ・講師招聘研修 ・校内研修の実施（年１０回以上）	・校内研修（改プ・夢プロを兼ねる） ①校内研修を計画に沿って実施（講師招聘研修６回．学力分析等、年間１１回）研究体制等の見直しも行った。	B	B	校内研修 ・指定事業は本年度で終了となるが、引き続き中野先生に来校いただき、指導を継続していただく。 ・授業改善プランで5教科を中心に年間２回指導主事を招聘し、教科の教科研修を実施していく。 ・研究主題に即した指導案検討や公開授業に向けた研修会を実施していく。 ・校内研修として、年間２かい以上の全校研修を実施する。	・校内研修は計画通り実施できたようです。その研修で得た情報や学びを基に、さらに授業改善に取り組んでください。 ・校内研修の充実を引き続き続けて下さい。 ・充分に研修等出来ていると思う。	B
			学力向上 【学習部会・教科部会・研究主任】	学力調査結果の分析と課題を共有し改善に向けた取り組みの充実。	・学力調査の分析や、校内研修による課題、改善の手立ての共有 ・全国学力・学習状況調査　全国平均以上 ・県学力定着状況調査　県平均以上	学力調査 ・全国学力・学習状況調査の結果 ・国５８（全国－0.1）、数５６（全国＋3.5） 高知県学力定着状況調査の結果※自校採点（県の値） ・１年生 国64.2(-0.7)社39.3(+0.8)数43.7(∓０) 理50.7(+3.8)　英59.1(-1.9) ・２年生 国70.5(+3.8)　社40.5(+6.2) 数47.6(-4.3)　理63.1(+7.0)　英41.6(+1.4)	B		学力調査 ・高知県学力定着状況調査の結果 県平均ほぼ同等の教科がほとんどであり、今後も学習定着状況を分析し、各教科の授業改善や効果的な校内研修を継続していく。 ・全国学習・学力状況調査 ○１人１台タブレット端末やデジタルドリル等のデジタル教材を効果的に活用した授業及び家庭学習（授業外学習）のを実施していく。	・高知県学力定着状況調査では、ほぼ目標を達成しています。しかし、生徒たちの落ち着いた学習態度を見ていると、もっと学力がつく余地はあると感じます。（あくまでも感じですが･･･）上の項目にも記入しましたが、そのためにも授業改善に取り組んでください。また、タブレット端末の活用についてもまだまだ課題があると思います。授業と家庭学習のシームレス化など、教育DXの推進に期待しています。 ・タブレット端末の活用を頑張って下さい。 ・学校で学んできたことを家庭で定着するまで勉強してもらうことは大変だと思う。	
			家庭学習の質と内容を高める取組 【学習部会・教科部会・研究主任】	・授業評価アンケートの実施と言語活動、表現活動の充実 ・授業評価アンケートの実施と班活動、グループ、ペア活動の充実	・授業評価アンケートの質問項目、「自分の考えを表現する機会がある」肯定群90%以上 ・授業評価アンケートの質問項目、「班やペアで意見や考えを聞き合える機会がある」肯定群90%以上 ・教科間連携、教科会による授業力の向上	授業づくり ・授業評価アンケートの質問項目、　「自分の考えを表現する機会がある」肯定群:社99.4%、数100%、理97.7%、英100%、国78.9% ・授業評価アンケートの質問項目、　「班やペアで意見や考えを聞き合える機会がある」肯定群：社98.8%、数100%、理95.1%、英100%、国84.2%	A		授業づくり ・授業評価アンケートからは、各教科で生徒同士の共同による課題解決に取り組みや、記述式問題に対応できる力を育てる共通理解が図れている。今後も継続をしていく。 ・五教科は国語・社会以外は複数の担当となり、昨年度と比べ各教科会が充実し、若年教員の育成にもつながっている。また、メンター会において、教員としての指導力の向上と教職員としての資質も向上に向け、校内教員・管理職・学校事務を講師として各課題・テーマに沿った学習を行い、共通理解を図るようにする。	・アンケートから生徒は主体的、そして協働的に学習に取り組んでいることが分かります。ただ、教科により少し差があるので、そこを分析して来年度の取り組みに活かしてください。 ・良く聞き、発言・発信出来る結果が出ている。 ・自分の考えや班などで相手の意見も聞き合える機会がある。肯定感が高くて良いと思います。	
豊かな心	１．規範意識及び自尊感情の育成 ◇豊かな心を育てる ○道徳教育の充実 ○人権教育推進に向けた校内研修の充実 ○二者面談の実施 ・声がけや積極的な肯定的評価 ２．生徒指導の充実と集団の高まり ◇生徒指導上の課題の減少 ○定期的な校内支援委員会の実施 ・課題や具体的支援の共有 ・SCの積極的な活用 ○仲間づくりに重点を置いた学校、学級経営の実施	１．規範意識及び自尊感情の育成 ◇豊かな心を育てる 道徳アンケート肯定群80%以上 人権意識アンケート肯定群85%以上 学校生活アンケート肯定群85%以上 ２．生徒指導の充実と集団の高まり ◇生徒指導上の課題の減少 校内支援会の実施（年間16回） 学校生活アンケート 「学校が楽しい」90%以上 Q-U満足群80%以上	道徳・人権教育の推進【道徳推進教師・人権教育主任】	・道徳教育の充実 ・人権教育推進に向けた校内研修の充実	・道徳アンケート肯定群80%以上 ・人権意識アンケート肯定群85%以上 ・学校生活アンケート肯定群85%以上	道徳アンケート肯定群 ・1年生(75.8)%　2年生(82.2)%　3年生(84.7)% 人権ンケート「周りから大切にされていると思う」 ・1回目の結果：全校の肯定群76.7%、非肯定群23.3% ・2回目は2月下旬実施	B	B	道徳教育の充実 「考え、議論する道徳」をめざし、ペアワークやグループワークでの相互の意見交流の学習形態が定着している。また、タブレットの活用などさまざまな意見交流の方法を工夫することができた。各学年で、年間計画を立て学年団の教員が分担して指導にあたる。 人権教育　人権アンケート「周りから大切にされていると思う」 ・1回目の結果：全校の肯定群76.7%、非肯定群23.3% 肯定群の内訳　親：93.8%、きょうだい：67.7%、祖父母：73.8%、友達：81.5%、学校の先生：50.8%であった。学校として【絆づくり】【居場所づくり】の取り組みを充実して、自分も他社も大切にできる生徒を育んでいく取り組みを推進する。	・人権意識や自尊感情は、学校教育活動だけではなく、家庭や地域と一体となって育まれていくものと思います。その点で、難しいところもありますが、まずは学校として夢プロの実践を今後も続けて、子どもたちの意識・感情を育んでください。 ・人権についてはまだまだこれから、時間が必要です。グループワークが充実していることは、良いと思います。 ・居場所づくり（見える化）、絆づくり。二者面談はとても大事なことだと思います。 ・学年を越えての活動、大事だと思います。 ・アンケートで学校の先生の割合が低いのにはビックリした。生徒さんには先生の思いが伝わっていないだけでは？	B
			生徒指導の充実と集団の高まり 【生活部会・特支コーディネーター】	・二者面談の実施 ・声がけや積極的な肯定的評価 ・生徒会活動の充実・あいさつ運動の実施 ・定期的な校内支援委員会の実施 （課題や具体的支援の共有 ・SCの積極的な活用） ・仲間づくりに重点を置いた学校、学級経営の実施 ・評価委員の意見を取り入れた取組の充実 ・保護者への情報発信	・校内支援会の実施（年間16回） ・学校生活アンケート　「学校が楽しい」90%以上 ・Q-U満足群80%以上	校内支援会 ・校内支援委員会17回開催、 不登校・不登校傾向出　現率11.2% 学校生活アンケート ・学校生活アンケート「学校が楽しい」 一学期92．2%、二学期93．8% ⑤Q-U満足群 ・1年　72.7%　、2年　59.1%　、3－1　77.8%　、 3－2　36.8%　全校平均61.6%	B		学校生活 二者面談は各学年で学期に一回は実施できた。二学期以降、授業や学校行事、生徒会活動など生徒の取組を積極的に掲示した。生徒主体の取組の充実を図る。 校内支援会 生徒のようすを掴み、二者面談や必要に応じて個々に話を聞くなど学校生活を一人ひとりが充実したものにできるよう、講師招聘研修を含め継続して取り組んでいく。 仲間づくり 室中トーク（2回実施） 学年を越えて、教職員と生徒で2者面談を行い、生徒理解とコミュニケーション力の向上を図った。次年度も継続して実施したい。	・校内支援会を計画的に開催し、課題のある生徒への対応について組織的に取り組んでいます。事案によっては、なかなかその成果が目に見えないもどかしさはありますが、継続して取り組むことが大事です。今後も、続けていきましょう。 ・学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」の割合が高いのは、先生方の取り組みの成果だと思います。しかし、Q－U満足群になると、目標数値よりも低いこと、また学級によっても違うことが気にかかります。そのことについては、学校で分析できていると思いますので、対応をお願いします。 ・Q-U満足群3-1と3-2の差が大きいのは気になります。	
健やかな体と命	１．体力・運動能力の向上 ○生徒が主体的に取り組める体育の授業づくり ○意欲的に活動できる体育大会の計画、取組の実施 ○駅伝大会への取組 ○部活動顧問の連携 （文科系部も含む）による体力向上の推進 ２．健康教育 ○生活スタイルアンケートの実施・分析と課題への指導 ○生活リズム表の実施・分析と課題への指導 ○保健便りの発行と家庭への啓発	１．体力・運動能力の向上 ・生徒に、「運動の楽しさや、喜びを味わい、自ら考えたり工夫したりしながら運動の課題を解決する力」がついている状態を目指す。 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果男女とも4項目で全国平均以上 ２．健康教育 ◇生活スタイルアンケート結果 ・11時30分までの就寝80%以上 ・7時までの起床90%以上 ・朝食の摂取率95%以上 ・毎日の排便85%以上 ・保健便りの発行（月２回以上）	体育・運動能力の向上 【体育・体育委員会】	・生徒が主体的に取り組める体育の授業づくり ・意欲的に活動できる体育大会の計画、取組の実施 ・駅伝大会への取組 ・部活動顧問の連携（文科系部も含む）による体力向上の推進	・全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果 男女とも4項目で全国平均以上 ・体育大会の達成感の向上 ・駅伝大会の取組の達成感の向上	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査より、 体力合計点数の平均：【男子34点（全国47点）、女子45点（全国47点）】 ○総合評価のDE群【男子66．7%】【女子E群は0%】【D群22．2%】 ○高知県体力・運動能力、生活実態等調査より 体力合計点：前年度より、男子の1，2年生は下回り、3年生は上回ることができた。1年生女子は、下回り2・3年生は上回ることができた。	B	B	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査より、体力合計点の全国平均を男女とも上回ることができなかった。昨年度より、男子は下がり、女子は全国平均に近づいている【男子34点（全国47点）、女子45点（全国47点）】。体躯の授業での運動量の確保を図る。 ○高知県体力・運動能力、生活実態等調査においては、体力合計点で前年度の同学年と比較すると、男子の1，2年生は下回り、3年生は上回ることができた。女子の1年生は下回り、2・3年生は上回ることができた。日常生活での運動量の確保が必要。通学での運動量や校内生活での運動量の確保。	・調査結果からすると、体力・運動面では課題があると感じます。運動系の部活動に入っている生徒が少ないことと関連があるのでしょうか。体育の授業だけでその力を付けるのはなかなか難しいと思うので、学校で工夫した日常的な取り組みが必要かなと思います。 ・体育的行事へは、生徒たちは自主的・積極的に取り組んでいたと思います。 ・運動会を見ていてそんなに気にしなくても良いと思う。 ・体力合計点が3年生は上回っているのはすごく良いと思います。	B
			健康教育の推進 【養護教諭	・生活スタイルアンケートの実施・分析と課題への指導 ・生活リズム表の実施・分析と課題への指導 ・保健便りの発行と家庭への啓発	・生活スタイルアンケート結果 11時30分までの就寝80%以上 7時までの起床90%以上 ・朝食の摂取率95%以上　毎日の排便85%以上 ・保健便りの発行（月2回以上）	2.健康教育①生活リズム表取組結果 ○生活リズム表の取り組みで、7時までの起床・11次までの就寝 ・結果は全校で77%、↓13%であった。・就寝の結果：全校53%、↓37% ・朝食摂取率97%目標達成 ・毎日の排便90%目標達成 ・家庭への啓発及び通信の発行(1月末現在23号)目標達成	B		健康教育 各学年と全体で分析を行い、学期末面談では良い面と改善面等の継続指導をし、生徒会保健委員会でも考察し、集会でプレゼンテーション等の発表、通信でも啓発活動を行ってきた。今後も取り組みを継続していく。	・より良い生活習慣（就寝・起床・バランスの取れた食事）は本人の自覚はもとより、家庭の協力が必要です。そのため難しい面がありますが、根気強く啓発に努めてください。 ・啓発活動をお願いします。 ・生活リズムについては、年齢が（小学生の頃より）上がるにつれて、遅寝遅起きが増えていく傾向だと思う。家庭の協力が必要だと思います。	
			部活動 【各顧問】	・生徒の自尊感情、達成感が高まるような活動の推進 ・生徒の負担軽減、教員の働き方改革の視点で、部活動の運営について見直しを行う	・部活動経営計画による部活動の実施 ・顧問会の実施（学期に１回以上） ・活動時間及び休養日を全体で統一 ・休養日については、週２日とする	計画通り、実施できた。 目標達成	A		来年度も全教職員で共通理解を図り、部活動を運営していく。	・計画通りできていると思います。生徒にもそして担当教員にも過重負担にならないように運営をお願いします。 ・先生方の働き方改革もあり、大変な努力をされていると感じます。 ・休養日も実施できて良いと思います。	
横断	１．不登校への対応と支援 ○不登校出現率5%以下 ○適応指導教室への生徒数0% ○不登校傾向の生徒の進学率100% ２．学校における働き方改革の推進 ○時間外在校等時間が45時間以内 ○夏季休業等の長期休業中の休暇取得10日以上 ○職場一斉の退校日の確実実施 ３．防災教育を中心とした安全教育・安全管理の充実 ○安全教育・防災教育及び避難訓練の計画 的な実施100% ○家庭や地域、関係機関等と連携・協働し た安全・防災教育を実施している	１．不登校への対応と支援 ・不登校対応検討会を学期に2回以上実施 ・校内支援委員会を月に2回以上実施（年間16回以上） ・生徒支援の充実に向けた校内研修を着実に実施 ２．学校における働き方改革の推進 ・管理職による月ごとの勤務時間管理と面談 ・定時退校日を毎週水曜日に実施 ・先進的な事例をもとに校内研修２回を実施し意識改革をする ・室戸中学校の部活動方針により、練習時間や休養日等を遵守する。 大会の選別出場 ３．防災教育を中心とした安全教育・安全管理の充実 ・年間5時間以上の防災学習を実施 ・講師招聘による講演会・学習会を1回以上実施 ・家庭や地域、関係機関と連携した避難訓練等を実施 ・避難訓練は年間3回以上実施 ・ケイタイ・スマホ・ＳＮＳ教室等の各種出前授業を実施	不登校対応 【不登校担当教員・ 校内支援委員会】	・不登校担当教員を中心とした不登校対応検討会の定例実施 ・ＳＣを交えた校内支援委員会の隔週実施（年間16回以上） ・特別支援教育学校コーディネーターとＳＣ連携による校内研修 の実施	・不登校対応検討会を学期に2回以上実施 ・校内支援委員会を月に2回以上実施（年間16回以上） ・生徒支援の充実に向けた校内研修を着実に実施	1．不登校への対応と支援 ・不登校出現率1.8%、不登校・不登校傾向出現率7.4% ・市適応指導教室在籍生徒3.7% ・不登校対応検討会・校内支援委員会を計画通り年間17回実施 ・校内での学習室や別室、保健室を不登校傾向等の生徒6.7%(6名)が利用している。	B	B	・不登校担当教員を中心とした不登校対応検討会の定例実施 ・SCや心の教育センターを交えた校内支援委員会の隔週実施（年間16回以上）、支援シートの工夫を行った。 ・特別支援教育学校コーディネーターとSC連携による校内研修の実施と、全体共有ができるために、校務支援システム掲示板を使い、共有ができるように工夫をした。次年度も継続的な取り組みを行う。	・不登校への対応・支援については組織的に取り組んでいると思います。ただ、3日調べを見ると、1年生に心配される生徒が数名います。別室登校を工夫したり、一人ひとりの状況を全校で共有したりして、全校的な対応を今後もお願いします。 ・暖かい対応ありがとうございます。 ・校内や別室での利用が、子供たちには不登校をせず学校へ行けているという気持ちになるのでは？と思います。	A
			働き方改革 【管理職】	・校務支援システムによる勤務時間管理の徹底 ・定時退校日を毎週確実実施 ・働き方改革に関わる校内研修の実施 ・室戸中学校の部活動方針に沿った部活動の経営	・管理職による月ごとの勤務時間管理 ・定時退校日を毎週水曜日に実施 ・先進的な事例をもとに校内研修を着実に実施 ・室戸中学校の部活動方針により、練習時間や休養日 等を遵守する	2．学校における働き方改革の推進 ・校務支援システムで月ごとの管理職が勤務時間管理し、毎月全教員の月別時間外勤務の集計表で確認した。 ・定時退校日を毎月の水曜日に実施したが、定時に帰れる教員は少ないため、12月より最終退校時間を18：30とし実施した。 ・校内研修で働き方改革について学習会を実施し、教職員で取り組んだ。 ・室戸中学校の部活動方針の共通理解を図り、練習時間や休養日等を遵守できた。	B		・校務支援システムによる勤務時間管理の徹底し個人面談を行ってい、月別時間外勤務を集計表で確認する。 ・毎月水曜日に最終退校時間を設定できたので着実に実施していく。 ・働き方改革に関わる校内研修の実施を行う。 ・室戸中学校の部活動方針に沿った部活動の経営を継続していく。	・教育の質を上げようとすると、どうしても在校時間が長くなります。また、中学校は部活動があります。そう考えると難しいですが、教員の心身の健康を保つためにも、室戸中学校としての働き方改革に取り組んでください。 ・先生方も無理をされないように。 ・部活動等で残業も多く大変だと思います。全体で定時退校日を設けているのは、良いと思いました。	
			防災・安全教育 【防災担当・各学年】	・安全・防災教育及び避難訓練の計画的な実施 ・講師招聘による講演会・学習会を実施 ・家庭や地域、関係機関と連携した取組を行う	・年間5時間以上の防災学習を実施 ・講師招聘による講演会・学習会を1回以上実施 ・家庭や地域、関係機関と連携した避難訓練等を実施 ・避難訓練は年間3回以上実施 ・ケイタイ・スマホ・ＳＮＳ教室等の各種出前授業を確実に実施	3．防災教育を中心とした安全教育・安全管理の充実 ・各学年5時間以上の防災学習を実施。 ・講師招聘による講演・学習会（県土木事務所）を実施 ・常会長さんの協力のもと、また、防災対策課と連携した避難訓練を行った。 ・避難訓練は計画に沿って年3回実施 （地震・津波2回、地震・火災１回）※起震車体験1回 ・ケイタイ・スマホ・SNS教室、非行防止、喫煙防止、薬物乱用防止、性教育等の各種教室を実施した。	A		・防災学習と避難訓練は継続実施と内容の充実を図っていく。また、地域を巻き込んだ活動を更に広げていく。 ・アンケート調査や学校便りを通じて、家庭と防災について考える場をつくっていく。 ・不審者対応や交通事故に対する研修会や学習を計画していく。	・計画通りできていると思います。地震や津波だけでなく、様々な災害への対応力を付けることが求められています。来年度も、工夫して学習や訓練を計画・実施してください。 ・引き続きお願いします。 ・沢山の学習が、出来て良いと思います。	